

日本「朋友数学教学」考察团について

秋田大学教育文化学部

杜 威

始めに

3 月 24 日からの 5 日間、縁があつて第 2 回「日本「朋友数学教学」考察团」¹⁾と一緒に中国北京を訪れました。行き来を含めて僅か 5 日間、万里の長城や十三陵、天安門や故宫そして天壇公園など遺跡の見学の傍ら、小学校 4 校及び北京教育科学院との研究交流をまるきり 2 日間行い、かなりの強行軍でした。でも実りは豊かな旅でした。



北京外国語大学附属学校にて

1. 訪問団の目的

隣国中国の躍進は、経済発展はもちろんのことながら、教育においても興味深い取り組みがなされているようであります。

一方、日本においては、「学力論争」の余波から教育施策は対処的な取り組みが目立つところではありますが、TIMSS の調査や ICME 9 などの取り組みから「授業研究」の意義が再認識され、一部で形骸化しつつあったものを、古くて新しい問題として取り組む動きが見られるようになってきました。

今回、中国の友好的な学校の計らいにより、躍進中国を支える算数・数学教育の実際を参観することできることになりました。また、この好機を逃すことなく、日本が誇る「授業研究」を積極的に紹介したいと考えています。

これらの取り組みが起点となり、日中の算数・数学教師が共に教材の開発や児童の認識理解を深耕する研究をすすめていくことを願い、平成 16 年 12 月に「日本朋友算数教学考察团」を結団いたしました。

実際に中国・上海へ渡って私たちが目にした中国算数授業は、質的にも量的にも、日本の算数授業を圧倒するものでした。躍進中国の姿を、確かに算数授業からも実感することになりました。質の高い授業を展開する中国算数教育との交流を深め、算数授業のあり方について協議し明日の授業づくりへの示唆を得ることはもちろん、両国の友好を深める1つの機会とするべく、「第2回考察旅行」を実施することにいたしました（以上目的の全文が引用）²⁾。

2. 訪問校及び双方の提示授業等

総勢 40 名くらいの参加者のうち、学校教育関係者は 25 名以上でした。訪問校及び双方が提示された授業等は以下の通りでした。

学校等	主な活動内容
芳草地小学 3月26日	提案授業 1年「円」、渡邊信行 先生（同志社小学校） 4年「面積」、河内尚和 先生（堺市立金岡北中学校） 関 忠和 先生（堺市立美原北小学校） 2年「平行与垂直」、王慧 先生 6年「円柱的表面积」、辛士紅 先生 協議
北京大学附属小学 3月26日	提案授業 4年「三角形や四角形の角の和」、堀 俊一 先生（帝塚山小学校） 5年「SUDOKU」、川崎庸右 先生（追手門学院小学校） 2年「角的認識」、何秀雯 先生 5年「異分母分数的加減法」、李正辰 先生 協議
昌盛園小学 3月27日	提案授業 2年「かがみをつかって」、佐藤 学 先生（大阪教育大学附属池田小学校） 3年「20をつかめ」、古本温久 先生（東大阪市立長瀬北小学校） 4年「生活中的負数」、趙震 先生 協議
北京外国語大学附属学校小学部 3月27日	シンポジウム 基調講演「日本の算数教育の現状と課題」、小西豊文 先生（芦屋大学） 「中国小学数学教育的現状」、呉正憲 先生（北京市教育科学研究院） 全体についての協議

3. 感想

これまで教育視察のため海外に出掛けて行く度、先方の授業や学校経営などを見せていただいたり、両方の算数・数学教育についての話し合い（研究交流）を行ったりするのが常套でした。しかし、今回は、両方の授業の展開からという斬新な形でスタートし、お互いの手の内を見せ合ってからシンポジウムに移しました。私にはまったく初めての経験でしたが、日中両方の関係者の多大な努力によって緊張の連続でありながら和やかな雰囲気の中で成功裏に収めました。

授業を見せ合う活動を取り入れることのよさは、学習指導のスタイルや教室文化及び教授技術についての交流ができると同時に、後半に予定している研究交流により具体的な話題を提供し、その交流がよりの射た形で行われる保証を与えています。

日本の授業研究が世界中で注目されています³⁾。中国の集団による教材研究⁴⁾に興味をもつも

のが増えてきています。「その後大きくつながっている」という意味では両方が同じでありませす。正に「三人寄れば文殊の知恵」であります。しかし、前者が主に終わった授業に関して行われるのに対して、後者が主にこれからの授業に対して行われます。特に日課（毎日という意味ではありません）とするか否かは効果がかなり異なります。日中それぞれのよいところを吸収しあってわれわれの日常をより効果的に行われていきたいというのは皆さんの願望であり、今回の大きな成果ではありませんか。これこそ「相互切磋共同提高＝切磋琢磨、共に向上」であります。



相互切磋、共同提高＝切磋琢磨、共に向上（昌盛園小学にて）

-
- 1) 大阪教育大学附属池田小学校佐藤学先生が団長。詳しいことは次の URL をご参照。
<http://www.ikedae-u.ac.jp/math2/china/index.htm>
 - 2) <http://www.ikedae-u.ac.jp/math2/china/page/purpose.htm>
 - 3) 湊三郎訳、日本の算数・数学教育に学べ□米国が注目する jugyou kenkyuu、教育出版、2002
 - 4) 杜威、中国の教育現場における数学科の教材研究活動について、「算数・数学教育における創造性の育成に関する内容や指導法の国際比較研究」(研究成果報告書)、国立教育政策研究所、2007